

カルボスルフアンの事前の情報募集の仕組みにおいて提供のあった情報一覧(ヒトに対する毒性・疫学研究以外)

No.	文献名	ジャーナル名等	公表年	著者名	著者の所属機関	書誌情報	研究分野	原著/総説	海外評価書での引用の有無	ドシエでの引用の有無	<i>in vivo</i> (動物種)/ <i>in vitro</i>	用量 (mg/kg体重又は mg/kg体重/日)	NOAEL/ NOEL	LOAEL/ LOEL	Klimisch コード	評価の目的との適合性に関する情報	備考
1	Chromosomal aberrations in cultured human lymphocytes treated with Marshal and its effective ingredient Carbosulfan	Mutation Research	1993	M Topaktaş et al	Cukurova University	doi: 10.1016/0165-1218(93)90068-o.	遺伝毒性	原著			in vitro					検索期間より古い論文だが、ヒトへの遺伝毒性を示した論文。ヒト末梢リンパ球を用いた研究。カルボスルフアンは chromosomal aberrations を起こした。再評価に使用することが必要と考える	
2	Induction of sister chromatid exchanges by cypermethrin and carbosulfan in bone marrow cells of mice in vivo	Mutagenesis	2003	Sarbani Giri et al	Assam University	doi: 10.1093/mutage/18.1.53.	遺伝毒性	原著			マウス					in vivoマウス骨髄細胞におけるカルボスルフアンによる遺伝毒性を示した論文。企業を検索期間より古い論文が、ヒトへの毒性を再評価する際に、必要な文献と考える	